

## 地力 設立の思い

### 【背景】

学生時代に浜田市弥栄町で、里山レンジャーズや、地域マネージャーとして活動させて頂いたが、その当時自分が貢献できることといえばほとんどなかったように思う。

「いつか恩返しをしなければならない。」そう思って、大学4年生の1年間約1反程度畑を借りて、農業をやってみた。ただ作るのだけではなく、ネットゲームとの連携をめざし、指示通り作った野菜を、収穫後送るといったものだった。結果はもちろん、私の農業に対する知識不足・ITスキルのなさでまったく目が出なかった。

まったく就活もしておらず、貯金もほとんどなくなり途方に暮れそうになった時、声をかけて頂いた会社に救われ、約5年間、社会人としての基礎や、農産品販売のノウハウ、旅行商品のノウハウ、コンサルタントとしてのノウハウを学ばせて頂いた。

ただ、ずっと、弥栄に対して何も返せていないというのが、根っこに引っかかっていた。

私は、兵庫県伊丹市出身で、どちらかと言えば、都市部出身の人間だ。だから、中山間地域の現状や、過疎という言葉とは縁遠い生活を送ってきた。学生時代たまたま弥栄というフィールドで活動ができた。当時は、地域おこし協力隊が発足したばかりでありそのまま地域で生きるということも出来たと思う。(実際に地域おこし協力隊の話は別の地域から頂いていたこともあった。)

### 【設立の思い】

地域に残らなかった理由は、いくつかあるが、実際目の届くところ以外にも日本には弥栄に似た境遇の地域がたくさんあるというところである。UIターンが増えてきているとはいえ、定着率を見るとまだまだ厳しい状況にある。中山間地域や里山が、このまま廃れていく、「村おさめ」をしないまま終わっていくということに強い危機感を私は持っている。

今すぐどうこうという問題ではないかもしれない。ただこれが、私の娘の世代になるときとなにかしらのホツレが生じているのだと思う。

地力設立の思いは、「ホンモノ」を作れる人が豊かな暮らせる社会を作ることである。

そのために、私は街側で「風」を生み続ける人間になる。中山間地域や里山に新しい「風」を送り続ける人間になる。それは、弥栄に限らず、同じ境遇の地域すべてにだ。

だから、地力は、「ホンモノ」を作れる生産者から仕入れ、都市での反応をフィードバックする。都市の声と農業をマッチングさせることで、今より儲かり、1世代だけでなくそれ以降もその地域で人々が生活出来る「継ぎたいと思える農業」を構築する。

都市側の人間として出来る「地域活性化」に地力は全力で向かいます。

平成28年9月19日  
地力 店主 藤井 健太